

■新川地区

・ 上市高 江上先生（情報C 1 年次 2 単位）

2 年次に開講される商業科目の実習にも対応できるように実習を中心に行っている。座学は学期に 4～5 回程度である。個人差が大きく、放課後コンピュータ室を開放して対応している。プロフ等によるトラブルがあり、モラルの授業の大切さを実感している。

3 年次には課題研究の発表もあり、プレゼンテーションソフトを実習し、発表のサポートができたらいと考えている。

・ 桜井高（情報B 1 年次 2 単位（2 人で担当））

座学中心で進めている。実習は、プログラミング、シミュレーション等の実習を行い、1 時間で完結できるような基本的な課題を与えるようにしている。部活動の兼ね合いもあり、放課後の補習をしないようにしている。

評価については、実習と定期考査の合計で評価している。

情報モラルに関しては、プロフ等に勝手に写真を掲載してトラブルになったこともあり、情報の授業だけでなく学年集会でも話題に出し、啓発している。

・ 滑川高 富樫先生（情報B 薬業科（1 年次 2 単位） 普通科（1 年次 1 単位））

今年度中学校から異動してきたことで、情報についての知識が何もないまま授業をしており大変苦労している。

授業については、座学と実習を半々になるように心がけている。先日行われた学園祭では、クラスの出し物の簡単なポスター作りも実習課題とした。

情報モラルに関しては、情報の授業に委ねられている面もあり、今後の授業の中でも折に触れて指導していく必要があると感じている。

・ 泊高 魚津先生（情報C 1 年次 2 単位）

泊高校には 2 年次からの観光ビジネスコースに Web デザインの授業があり、それにつながればという考えもある。3 分の 1 程度実習に当てている。

教科書の内容はすべてできないのが実情であり、内容を厳選している。実習ではワード、エクセル、パワーポイントは最低限できるようにさせたいと考えている。

評価は、実習ではほとんど差がつかない。

昨年まで、T. T で授業を行っていたが、学校の事情により今年度は一人で担当。負担感が大きい。特に、コンピュータの不具合が多く、一人では対応できない場面が何度もあった。

・ 雄山高 荒尾先生（普通科（情報C 1 年次 2 単位）生活文化科（家庭情報基礎））

すべてコンピュータ室で授業を展開している。タイピング練習を授業の最初に取り入れている。情報処理検定等も希望で受検することができるので、資格取得を視野に入れて授業を展開している。自己紹介をパワーポイント、情報処理検定 3 級程度のエクセルの実習を行っている。

評価については、年間 5 回の定期考査と実習を合わせて評価している。

情報モラルについては、警察から講師を派遣してもらい学年集会を開き、話をしてもらっている。

- ・ 魚津高 林先生（情報B 普通科（1年次 2単位） 理数科（1年次 1単位））

普通科の2単位は2人で担当している。章で担当を分けて同時展開している。実習を中心に授業を進めている。スカイメニューを導入している。生徒の実習の様子がわかるので有効である。

評価については、期末考査のみを実施している。

年度当初に授業でモラルに関するものを実施している。

- ・ 新川みどり野高 大前先生（単位制 情報B、C）

前後期の2期制で半期に週4回開講しているので、スキルアップは早い。ただ個人差が大きく、その対応が難しい。そういった生徒を対象に、学校設定科目で情報入門も開講している。単位制のため、1年次に全員履修しているとは限らない。さらに、夜間では、地域にも開放しているが、生徒よりも地域の方が多く、どちらを中心にしていいのかと考えてしまうくらいである。

生徒の実態から、欠課が多いと単位が認定されないようになっている。

- ・ 全体協議

数学・理科・家庭以外の教科でも担当できるようになってほしい。情報の免許のある人に集中し、自分の専門教科の授業ができない。専門教科外の人に自分の専門教科の授業をお願いしなければいけない状態である。校内のパソコンに関する整備も含め負担が大きすぎるのではないか。そういった面から、2人で分けて担当している学校もある。しかし、評価の方法であったり、実習であったり、すりあわせる部分が多く苦勞もある。

■ 富山地区

参加校：水橋・ふるさと養護・富山北部・富山・中央農業・富山東・八尾・富山南・富山中部・呉羽・富山いずみ

①. 教科「情報」について

- ・ 教科の違い（情報B、情報C）
- ・ 担当者（複数、単独、T T、免許取得者）
- ・ 定期考査の有無（中間考査、期末考査、学年末考査）
- ・ 履修学年（1学年2単位、1学年1単位・2学年1単位）
- ・ 授業形態（2時間連続、集中講義形式）

②. 情報セキュリティについて

- ・ 執務用PCの導入（利用法・ユーザID・パスワード）
- ・ 個人情報保護について（パスワード）
- ・ USBメモリの取り扱い（パスワードの設定・使い分け）

③. ネットワーク管理等について

- ・ 情報担当者のうちほとんどがサーバ管理も行っているという状況であり、負担が大きい、という意見が大半を占めた。

■ 高岡地区

参加校：福岡・高南・小杉・有磯・志貴野・氷見・新湊・高西・高岡・高商・大門・伏木

①. 各校におけるセキュリティ対策について

- ・ 私有 PC は完全に持ち込み禁止にし、執務用 PC を運用している。
- ・ 成績処理について新たにマニュアルを制定した。
- ・ 総合学科であり成績処理が大変複雑である。新たに成績処理用に 6 台の PC と専用 USB メモリを購入し、専用のソフトの導入を考えている。
- ・ 私有の USB メモリの使用は全面的に禁止し、やむをえず必要な場合は学校で準備した指紋認証型の USB メモリを使用してもらっている。USB メモリにはデータの書き込み、削除などの記録が全て残る。
- ・ 教材やテスト等も全て学校の執務用 PC で扱うこととし、データは全てサーバに保存する。サーバのデータは CD 等へは書き込めないように設定してある。
- ・ サーバや紙でどれだけ個人情報扱うものがあるか再調査し、情報委員会を新たに立ち上げた。
- ・ 担任には専用の PC と指紋認証型の USB メモリを配布している。
- ・ 個人情報使用簿を作成したが、意味がないのでは。
- ・ 分掌ごとにサーバ内のデータはユーザ権を設定している。
- ・ どこから手をつけどこまで徹底すればよいのかわからない。
- ・ セキュリティ対策はやろうと思えばキリがない。また教員はあくまで素人であり、穴は必ずできる。真面目に取り組めば取り組むほど、仕事ができなくなる。

■ 砺波地区

参加校：石動・となみ野・南砺総合福野・南砺総合井波・南砺総合福光

①. 授業の取り組みについて

- ・ 前期は「情報モラル」のテーマでプレゼンテーションが中心、互いに遠隔システムで発表会を行った。後期は、Photoshop で画像の編集・デジタル化を行っている。（情報 C：福野・福光）
- ・ 2 学期は PowerPoint のスライド切り替えを使ってアニメーションを製作している。（情報 A：となみ野）
- ・ 2 学期は Java Script のプログラミング・Access を利用したデータベースに取り組んでいる。（2 年選択：情報 B：石動）
- ・ 教科書通り（情報 C：井波）

②. Windows Vista について

- ・ この 10 月に PC が更新となったが、今まで使用していたソフトが Vista に対応していないことから、XP 用の OS を Vista 上で起動させる工夫をしている。ソフトが Vista 対応になれば環境を変更する予定である。（福光）

③. 動画編集について

- ・ 素材は、HR 役員に IT 推進委員を設け、学校行事ごとにビデオやカメラで素材を準備している。ただし、解像度が高いと授業素材として適切かどうか厳しい現状である。（石動）

④. 復元機能について

- ・ 4 校に PC の復元機能がある。しかし石動高では、導入したことで PC に不具合が生じている。セキュリティを高めると授業がしにくい環境になったと話があった。

⑤. ネットワークセキュリティ対策として

- ・ どの学校も個人用にユーザ名とパスワードをふって、PC を自己管理することを教育している。